

地方版人口ビジョン及び総合戦略の策定に
向けて行ったアンケート調査結果
(抜粋)



健康創造都市やまと

●実施時期

- ・ 6月18日（木） 調査票発送
- ・ 7月 2日（木） 督促状発送
- ・ 7月 3日（木） 締切日

※集計は7月17日（金）回収分まで含む

●3種類のアンケートを実施

①独身者アンケート

18歳以上50歳未満の未婚の男女2,000人

②夫婦世帯アンケート

50歳未満の既婚の男女2,000人

③定住意向アンケート

16歳以上の男女2,000人

●回答状況

	独身	夫婦	定住	全体
標本数	2,000	2,000	2,000	6,000
有効回収数	392	854	951	2,197
有効回収率	19.6%	42.7%	47.6%	36.6%

※本資料については集計中の暫定値であり、今後、若干の補正を行う可能性があります。

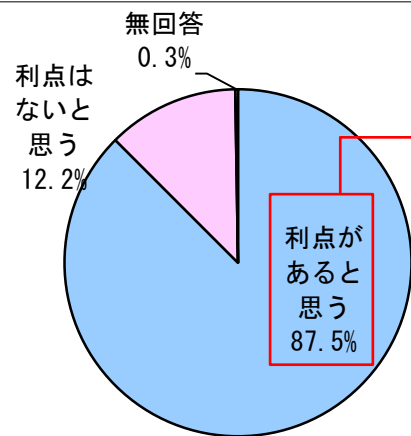
①独身者を対象とした調査(抜粋)

問9 独身生活の利点

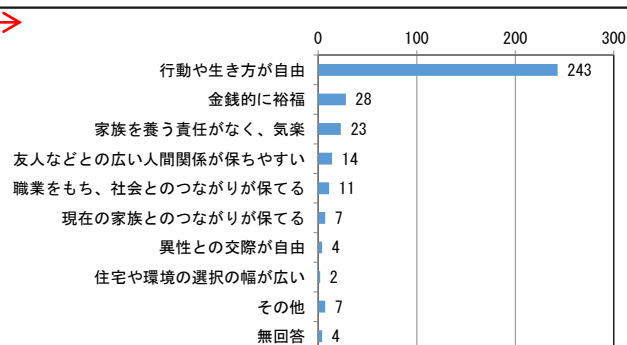
- 独身の利点は「利点があると思う」が 87.5%、「利点はないと思う」が12.2%となった。
- 具体的な利点(最大)は「行動や生き方が自由」(70.8%)が最も多く、次いで「金銭的に裕福」(8.2%)、「家族を養う責任がなく、気楽」(6.7%)となった。
- 具体的な利点(第二)は「家族を養う責任がなく、気楽」(23.0%)が最も多く、次いで「金銭的に裕福」(16.0%)、「行動や生き方が自由」(15.2%)となった。

A. 利点の有無 (N=392)

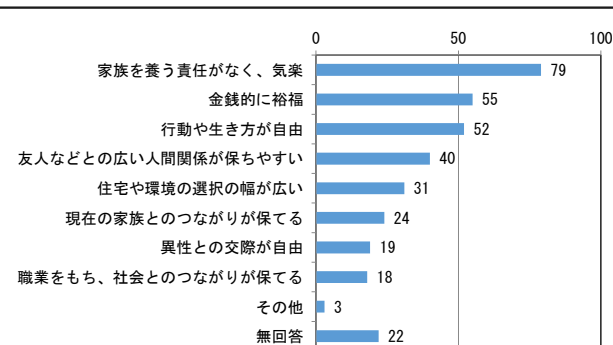
B. 具体的な利点 (N=343)



【最大の利点】

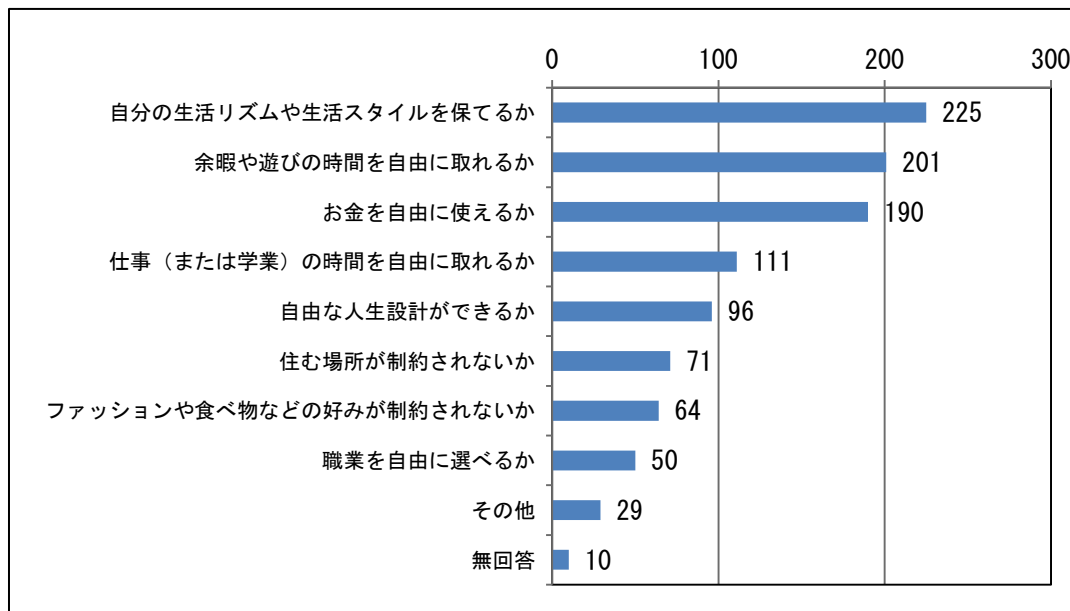


【第二の利点】



問10 結婚を考えた時の気になること (N=392)

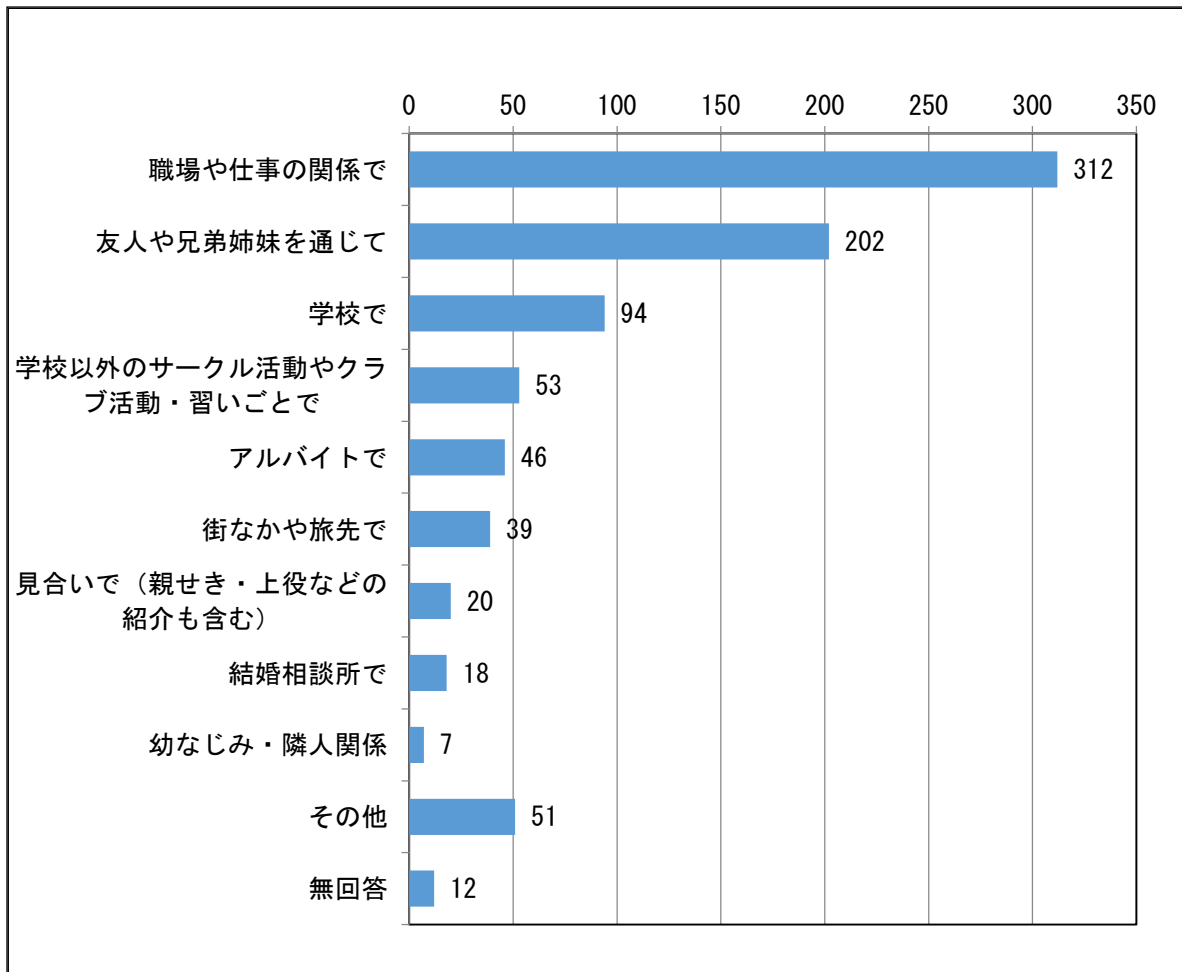
- 結婚を考えた時の気になることは「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(57.4%)が最も多く、次いで「余暇や遊びの時間を自由に取れるか」(51.3%)、「お金を自由に使えるか」(48.5%)となった。



②夫婦を対象とした調査(抜粋)

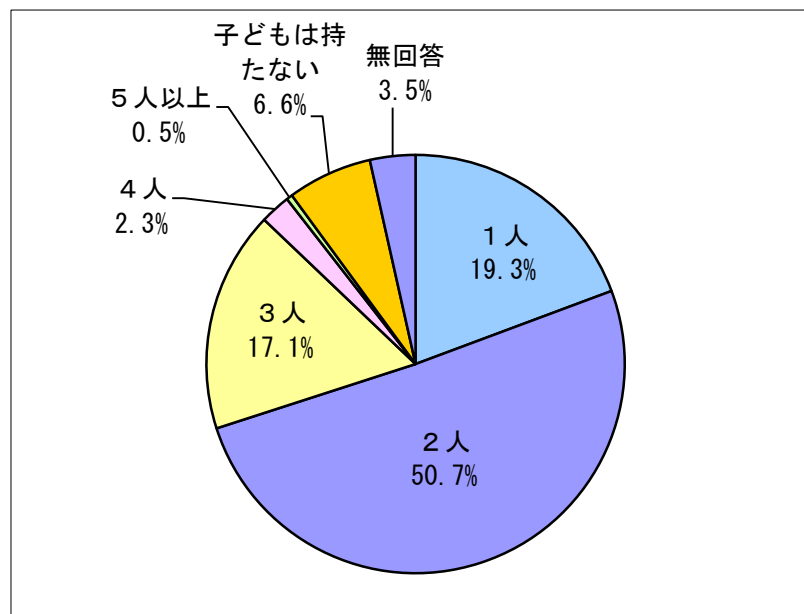
問10 知り合ったきっかけ (N=854)

- 知り合ったきっかけは「職場や仕事の関係で」(36.5%)が最も多く、次いで「友人や兄弟姉妹を通じて」(23.7%)、「学校で」(11.0%)となっており、これらで約7割を占める。



問15 子どもの予定 (N=854)

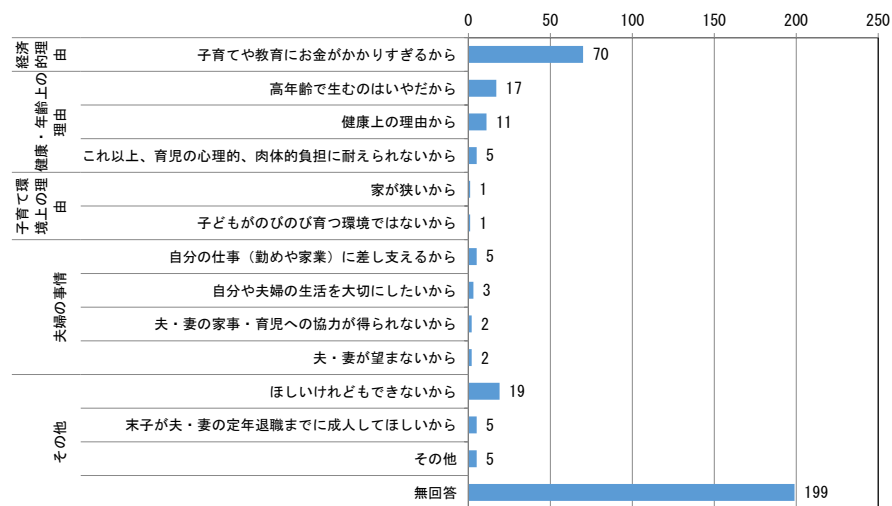
- 最終的に全部で何人の子どもを持つかについては、「2人」(50.7%)と最も多く、次いで「1人」(19.3%)、「3人」(17.1%)となっている。



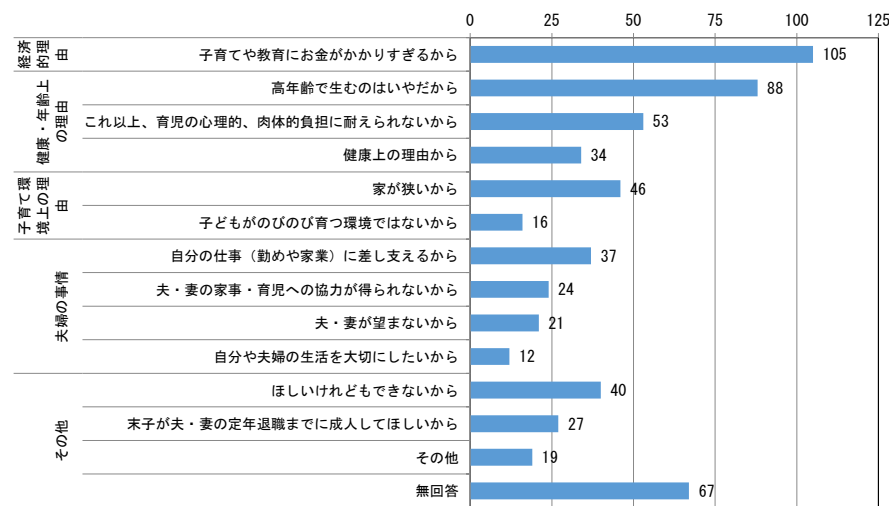
問17 子どもの数が理想より少ない理由

- 今後持つつもりの子どもの数が理想とする子どもの数より少ない最も重要な理由は「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(70)が最も多く、次いで「ほしいけれどできないから」(19)、「高年齢で生むのはいやだから」(17)となっている。また、最も重要な理由以外では「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(105)が最も多く、次いで「高年齢で生むのはいやだから」(88)、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」(53)となっている。

【最も重要な理由】 (N=854)



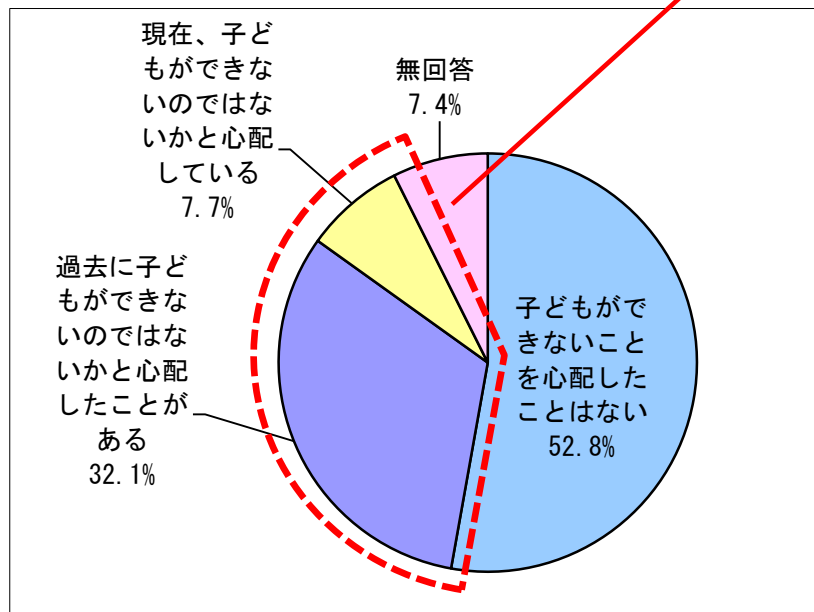
【最も重要な理由以外】 (N=854)



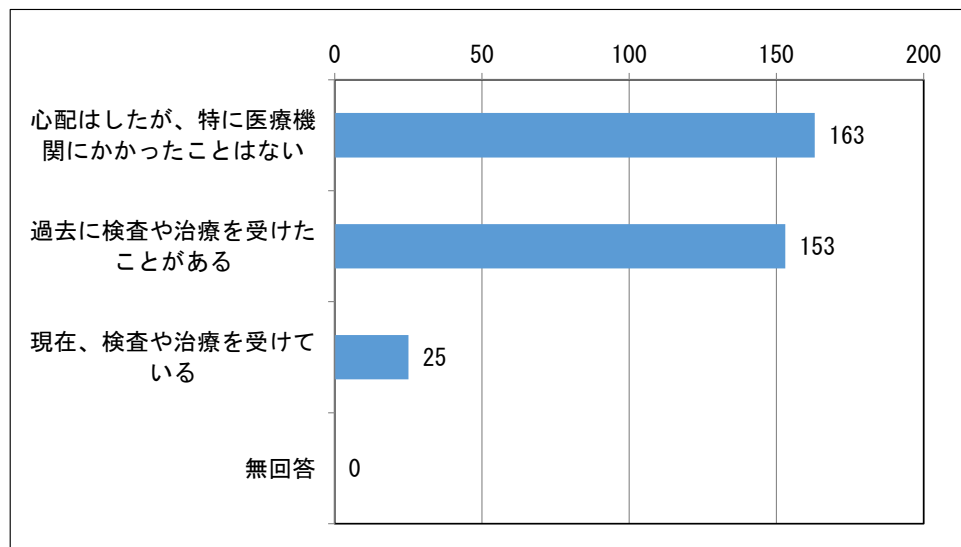
問18 不妊について

- 不妊への不安や悩みの有無については「子どもができないことを心配したことがない」(52.8%)と最も多く、次いで「過去に子どもができないのではと心配したことがある」(32.1%)となっている。
- 不妊治療の経験の有無については「心配はしたが、特に医療機関にかかったことはない」(47.8%)と「過去に検査や治療を受けたことがある」(44.9%)がおおむね同率である。

(1) 悩みの有無 (N=854)



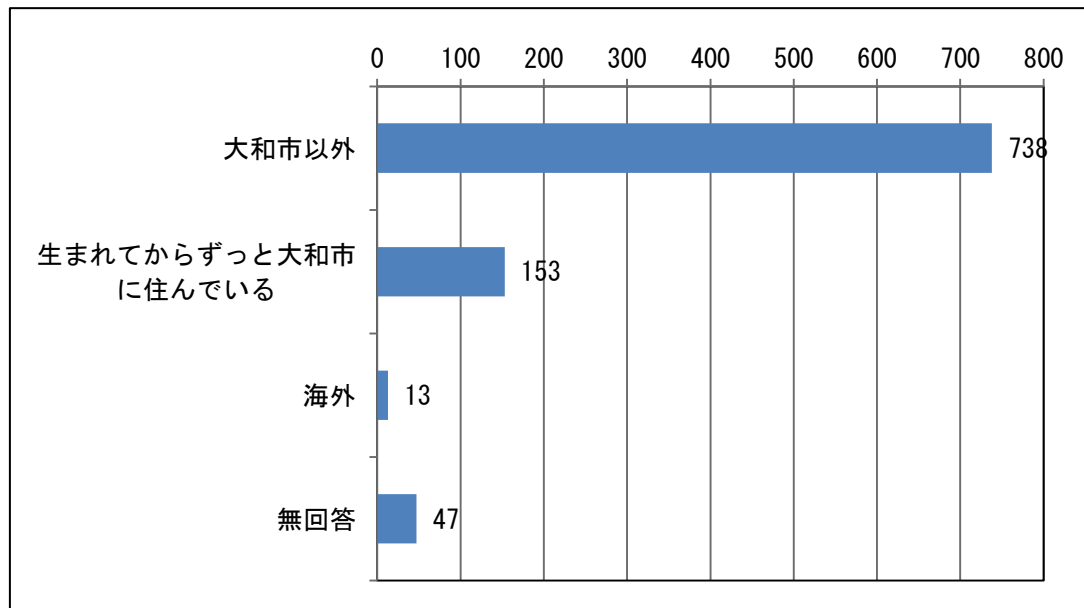
(2) 不妊治療の経験の有無 (N=341)



③定住意向調査(抜粋)

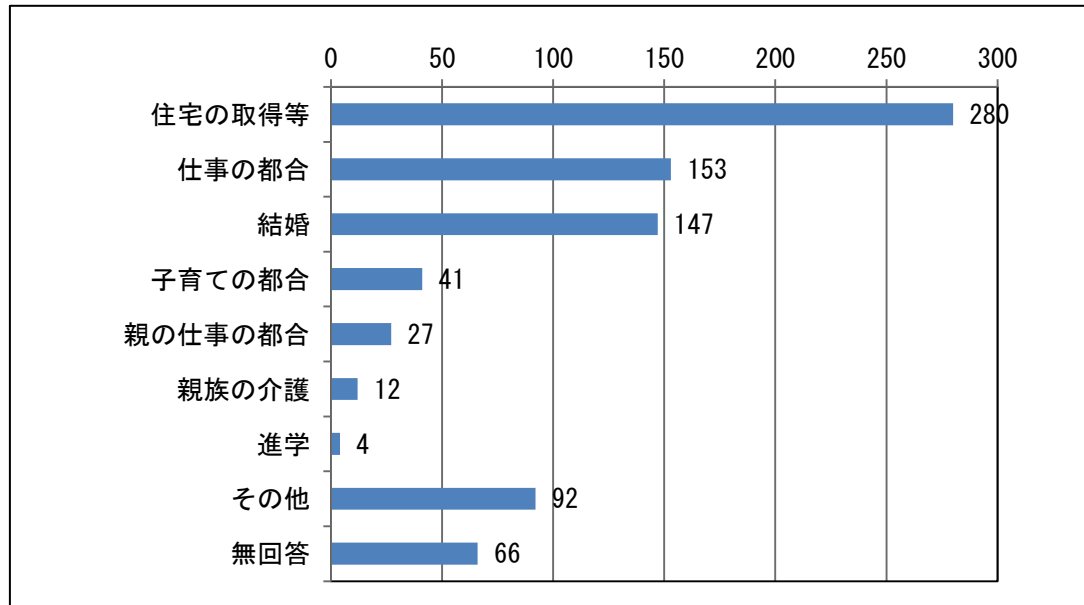
問9 以前の居住地（N=951）

- 以前の居住地は「大和市以外」(77.6%)が最も多く、次いで「生まれてからずっと大和市に住んでいる」(16.1%)となっている。



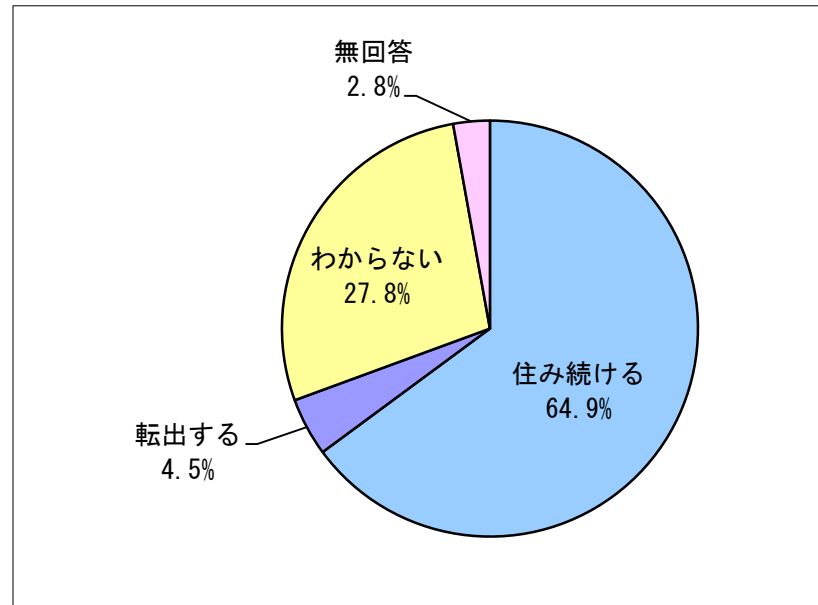
問10 大和市への転入のきっかけ (N=738)

- 大和市への転入のきっかけは「住宅の取得等」(280)が最も多く、次いで「仕事の都合」(153)、「結婚」(147)となっている。



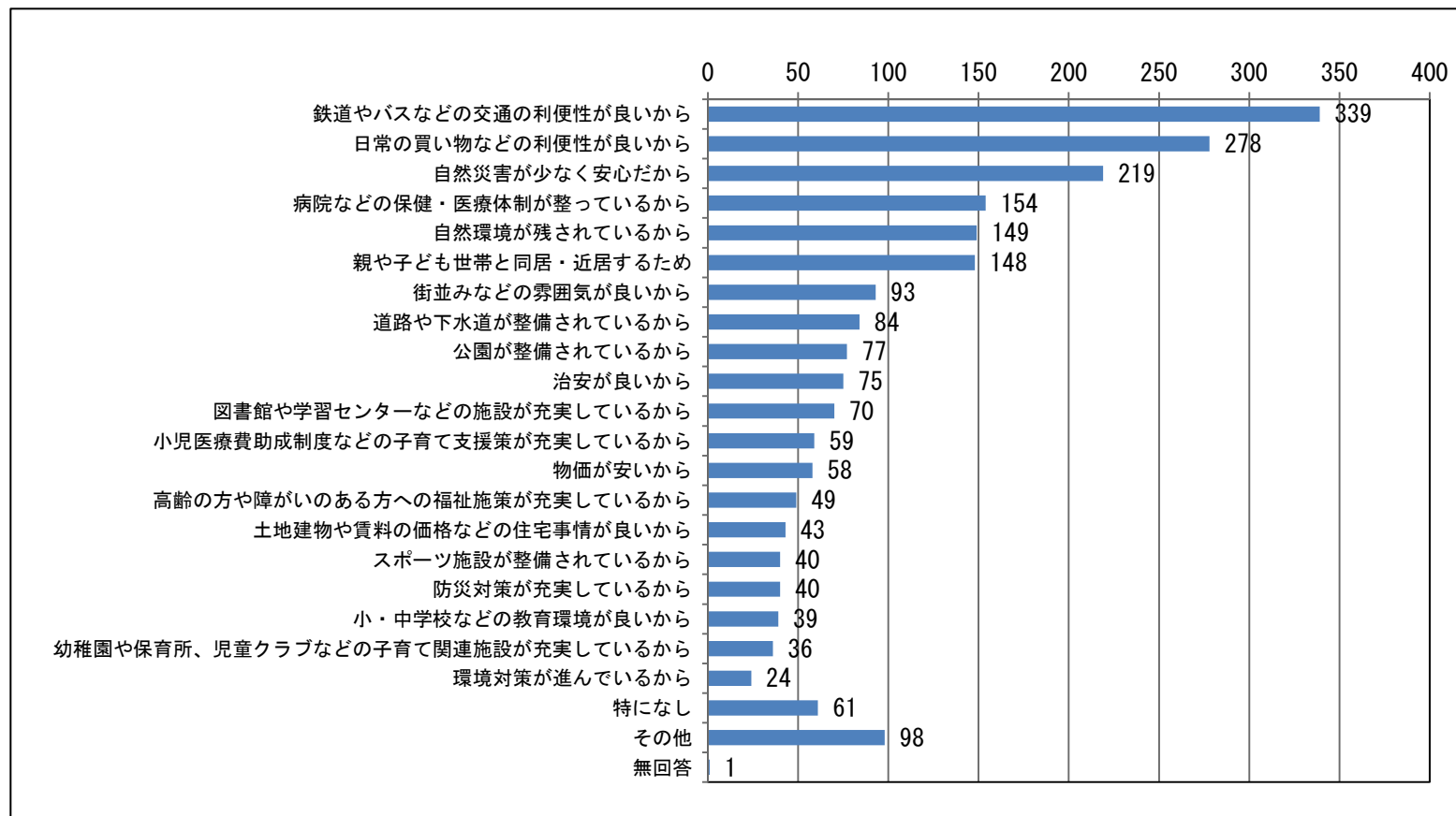
問13 定住意向 (N=951)

- 今後の定住意向は「住み続ける」(64.9%)が最も多く大半を占める。次いで「わからない」(27.8%)となっている。「転出する」はわずか4.5%となっている。



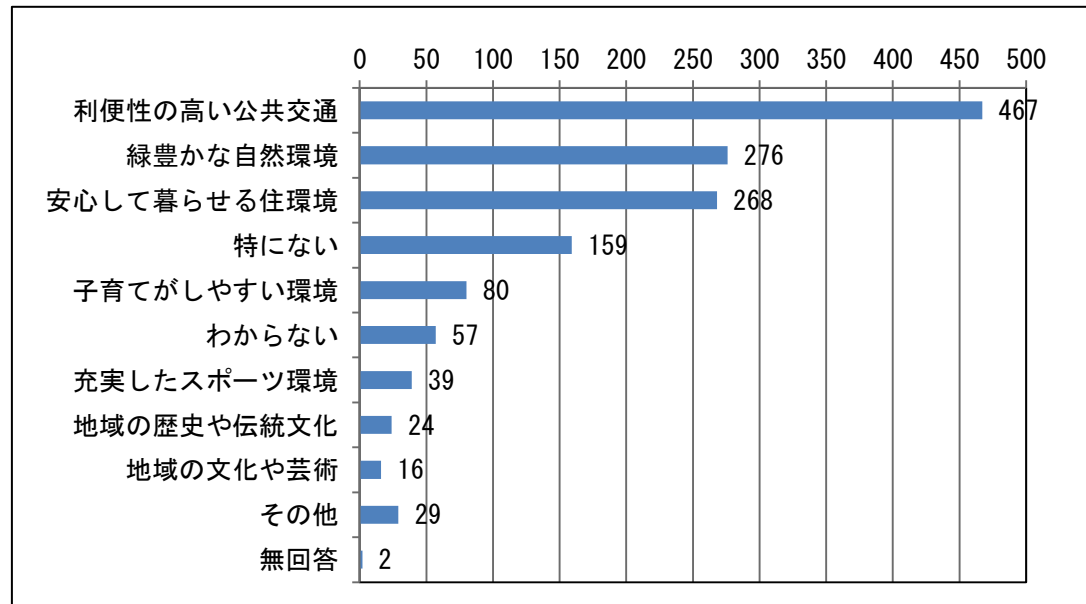
問15 定住する理由 (N=617)

- 大和市に住み続ける理由は「鉄道やバスなどの交通の利便性が良いから」(339)と最も多く、次いで「日常の買い物などの利便性が良いから」(278)、「自然災害が少なく安心だから」(219)、「病院などの保健・医療体制が整っているから」(154)、「自然環境が残されているから」(149)、「親や子ども世帯と同居・近居するため」(148)となっている。



問20 大和市に魅力や愛着を感じること (N=951)

- 大和市に感じる魅力や愛着は「利便性の高い公共交通」(467)、「緑豊かな自然環境」(276)、「安心して暮らせる住環境」(268)となっている。一方、「特にない」(159)もこれに続いている。



④希望出生率等、出生に影響する数値の状況

出生へとつながる数値の状況

項目	数値	算出方法	出典	参考値	
				国	県
既婚者割合	32.2%	18～34歳女性の有配偶者の割合	平成22年国勢調査	34%	33.5%
夫婦の予定子ども数	1.84	50歳未満女性既婚者の予定子ども数	「大和市版まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に関する市民アンケート調査	2.07	1.58
未婚者割合	67.8%	1－既婚者割合	平成22年国勢調査	66%	66.5%
未婚者の結婚希望割合	91.0%	35歳未満女性の「結婚希望あり」の割合	「大和市版まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に関する市民アンケート調査	89%	77.6%
理想子ども数	2.07	「結婚希望あり」の35歳未満女性の理想子ども数	「大和市版まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に関する市民アンケート調査	2.12	1.90
離別等効果	0.938	国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」における出生中位の仮定に用いられた離死別等の影響		0.938	0.938
希望出生率	1.76	—	—	1.8	1.42

- 本市の「夫婦の予定子ども数」、「理想子ども数」、「希望出生率」は国と県の間値となっている。

国は長期ビジョンで、2030年の出生率に設定。